

Quality of vision & Quality of life 生涯付き合う緑内障



座長

谷戸 正樹 先生
(島根大学)

緑内障は生涯にわたり管理が必要な疾患であり、患者のQOV・QOL維持は我々にとって重要な課題です。視野障害が進行すると自立機能が低下し日常生活に制限が生じるため、QOVだけでなくQOLも低下します。また、転倒恐怖感といった心理的・身体的影響が増加することも報告されています。視野を維持するためには緑内障薬物治療が第一選択となりますが、長期にわたる点眼治療は思っている以上に患者の負担となることがあり、知らず知らずのうちにQOLが低下している可能性もあります。

今回のセミナーでは、緑内障患者の「生活の質を維持するには」と「点眼治療の質を上げるには」の2つのテーマを設定しました。生涯の視野を護り治療継続する中で、QOV・QOL維持のためには何が重要か?についてお二人の先生にご解説いただきます。先生方のご参加をお待ちしております。



演者1

結城 賢弥 先生
(名古屋大学)

生活の質を
維持するには



演者2

溝上 志朗 先生
(愛媛大学)

点眼治療の質を
上げるには

